



日章学園九州国際高等学校校長便り 皇月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

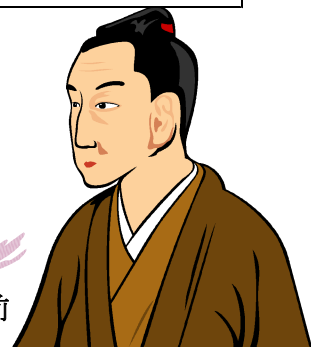
学園スローガン：自分を磨け

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和6年(2024年)5月1日(水) 校長 屋田伸仁



# 親思ふ心にまさる親心



ゴールデンウィークが近づくと、「グリーンパークえびの」前の川内川に面した川沿いに十数本の竹竿が立ち並びます。たくさん親子の鯉のぼりが一斉に初夏の風になびいて、気持ちよく泳いでいる姿は圧巻です。鯉のぼりを見上げながら、川沿いをジョギングすると、とても爽快な気分になれます。オススメです。

さて、5月5日は「こどもの日」です。国民の祝日に関する法律によれば、こどもの日は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに、母に感謝する。」と明記されています。こどもの日とは、こどものための日であると同時に、母に感謝する日なのです。

本校は、ほとんどの生徒が寮生活をしています。4月に入学し、親元から離れて一人での生活を初めて経験して、親の有難さを感じている生徒も少なくないと思います。吉田松陰のつくった歌の句に「親思ふ心にまさる親心」というのがあります。世の中の高校生の中には、親孝行する子もいれば、反抗期で親に反発する子もいます。一方、親にはこどもを思う親心があります。こどもが悲しめば、親はもっと悲しみ、こどもが喜べば、親は更に喜ぶものです。こどもが思う以上に、親心は大きく、深いものなのだと言っています。全く同感です。生徒達には、「こどもの日」は、親心に思いを馳せ、親に感謝し、寮生活や学校生活をがんばってほしいと願います。



# 自分の磨き方①



今年の学園スローガンは「自分を磨け」です。自分を磨く方法はいろいろあります。自分の磨き方のヒントになるような考え方を、学校だよりで紹介し続けていきます。1回目は「良い習慣」について考えてみます。

良い習慣をつけようするとその習慣のついていない人にとっては、強い意志と大変な努力が必要ですが、その習慣がついている人は、苦勞なく、簡単にできます。たとえば、学校から帰ってきたらまず復習するという習慣がついている人は、学校から帰ってきたら、おやつを食べるくらいのはたやすさで、座ってやってしまいます。ところが、その習慣がついていない人がたまにやろうと思ったら、学校から帰ってすぐ机に向かうことがどんなに苦しいことか、想像できます。私の例で言うと、40代の頃、健康のために始めたジョギングは最初の頃はきつかったですが、今では苦もなく、やり続けられています。今月のえびの京町マラソンも楽しみにしています。習慣のすごいところは、初めは苦しいかもしれないけれど、どんどん楽になっていくところです。また、習慣というものは、いいにしろ、悪いにしろ、常についてまわるものなので、積極的に良い習慣をつけ続けないと、悪い習慣が付き続けるということです。早起きの習慣をつけられない人は、朝寝坊の習慣をつけていることになるのです。

良い習慣は人生の宝です。本校は、寮生活で規則正しい生活習慣を身につけながら、勉強する学校です。不登校や昼夜逆転の生活習慣を続けてきた人は、本校で自分を磨いて良い習慣を身につけてください。そのために、本校の先生たちはトコトン面倒をみます。

